

徳島県立博物館
第3期中期活動目標

平成26年9月17日

近年、生涯学習社会の進展など、博物館を取り巻く状況は急速に変化してきました。これまでの資料の収集・保存や調査研究、展覧、普及教育などの事業に加えて、学校教育の支援や社会貢献、博物館活動への県民参画など、新たな課題への取り組みが求められるようになってきました。その一方で財政状況悪化による運営予算の削減、事業評価、及び公的施設の運営の見直しなども進められるようになってきました。

こうした状況の変化を踏まえ、徳島県立博物館では平成16年度以来、2期10年間（第1期：16～20年度、第2期：21～25年度）にわたり、中期活動目標とそれにもとづく点検・評価を行いながら、事業の改善と活性化を進めてきました。

ちょうど、第1期目標にもとづく活動が終わる20年度、博物館法の一部が改正され（20年6月）、運営状況の評価と運営の改善に必要な措置を講ずるための努力義務が盛り込まれました。また、第2期目標にもとづく活動を進めていた23年度には、文部科学省から「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され（23年12月）、博物館運営の点検・評価の実施とそれにもとづく改善、それらの内容の公表について努力するよう求められました。こうした法制面での動向からも、徳島県立博物館における中期活動目標の策定・運用は適切な取り組みということができ、今後も継続的に推進することが必要だと考えます。

25年度をもって第2期目標の期間が終了したことから、これまでの成果を踏まえながら、ここに第3期目標（26～30年度）をまとめました。

1 第2期中期活動目標の総括

中期活動目標にもとづく事業改善と活性化に取り組むようになった平成16年度以来、事業の目標が明確に可視化されるとともに、達成度が客観的に示されるようになり、事業の課題や問題点を明らかにすることができるようになりました。このような情報を共有することで、職員の意識改革を進め、利用者にとって満足度の高いサービスを提供できるよう努めてきました。

とくに第2期目標では、第1期の経験を活かし、徳島県立博物館の理念及び基本的性格^(注)を再確認しながら、「県民とともに」を基調とする博物館の使命（存在意義や役割）をまとめたうえで、個々の事業やその目標、評価指標を位置づけることにしました。

このように、使命と一体化した形で、事業の目指すべき方向を明確にしたのが第2期目標の特徴であり、これにあわせて評価指標などの見直しも行い、より丁寧な点検・評価を進めることができました。ただ、基調とした「県民とともに」を推進するには、さらに意識的な方向付けが必要と考えられ、課題を残したといえます。

（注）

「徳島県立博物館の理念及び基本的性格」とは、「徳島県立博物館基本構想」（昭和59年1月）に示され、博物館の活動目標・指針となってきたものです。その内容は次のとおりです。

<基本理念>

①郷土に根ざし世界に広がる博物館

徳島の自然，歴史，文化の資料を総合的に展示し，全国的・世界的なかかわりについても理解できる施設

②開かれた博物館

博物館の活動に県民のだれでもが参加でき，楽しみながら学び，考え，豊かな知識を高めることのできる施設

③研究を大切にする博物館

学術的な調査研究，資料の収集を通して，常に新しい展示と情報を広く提供する施設

④文化財を守り自然の保全をめざす博物館

県民の貴重な文化的資料を永久に保管するとともに，文化財と自然の保護に努める施設

<基本的性格>

①人文科学（考古，歴史，民俗，美術〈近代美術を除く〉）・自然科学（動物，植物，地学）の両者が有機的に結びついた総合博物館とします。

②収集保存，調査研究，展示，普及教育の4つの機能を備え，本県の文化，学術，教育及び生涯学習センターとしての役割を果たします。

③国内外の博物館，研究機関等と緊密な協力体制をとります。

また，文化の森総合公園に建設が予定されている民家資料展示場，植物園等の施設はもちろん，県内の博物館，博物館相当施設，類似施設等と相互協力し，その中核的博物館としての性格をもつものとします。

2 第3期中期活動目標の策定の経緯

第3期中期活動目標の策定にあたっては、「県民とともに」を確かなものとするため，使命の再検討を重点的に行いました。その結果，新たに「「連」県民とのつながりを大切にする博物館」を加えることにより，博物館の発信力を強化して，県民とのコミュニケーションの充実に力を注ぐ方針を明確にすることとしました。また，これに伴い，事業区分を再編することにし，「県民協働・参画」を新たに設けることにしました。その他，各事業の目標や評価項目，指標等についても，実情を踏まえた点検・評価によって博物館活動のステップアップが図れるよう，見直していきました。

3 徳島県立博物館の使命

徳島の自然・歴史・文化の宝箱
—県民とともに活動し、成長する博物館—

徳島県立博物館は、徳島の自然や歴史、文化についての資料・情報にもとづく体験と学びの場として、県民のみなさんとともに活動し、成長していきます。

「知」知と出会う博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化についての多様な資料や情報をもとに、県民のみなさんとともに楽しく学べる場を創ります。

「探」地域の魅力を探る博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化について県民のみなさんとともに調べ、新たな地域の魅力を見つけます。

「伝」未来にまもり伝える博物館

博物館は、徳島の自然・歴史・文化についての資料を県民のみなさんとともに集め、「みんなの宝」としてまもり、未来に伝えます。

「連」県民とのつながりを大切にする博物館

博物館は、県民のみなさんと対話を深めながら、ともに活動し、地域の活性化に貢献します。



徳島の自然・歴史・文化の宝箱
—県民とともに成長する博物館—

「徳島県立博物館の使命」における要素間の関係

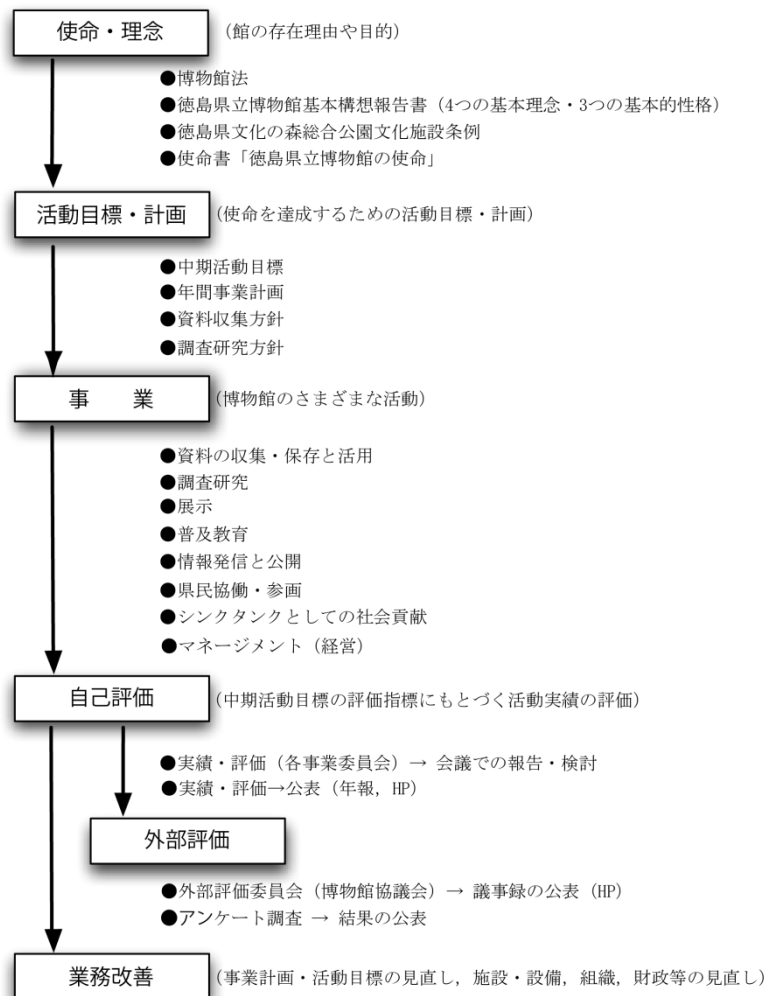
博物館では、効率的でバランスのよい運営を心がけながら、以上の使命を実現するために努力していきます。

4 第3期中期活動目標の推進方法

中期活動目標とは、使命を実現するために、今後5年間（平成26～30年度）の活動目標を事業ごとに定め、年度ごとに評価を行うとともに、事業改善につなげていくためのものです。その推進にあたっては次の点に留意します。

- ・中期活動目標は、博物館協議会に諮ったうえで公表します。
- ・それぞれの活動目標にもとづき、年度計画を立てて活動を推進します。
- ・年度末には活動実績の評価を行い、その結果を年報やホームページに掲載するとともに、次年度以降の活動計画に反映させます。
- ・活動実績及び評価の結果について博物館協議会で議論していただき、外部評価意見としてホームページに記載するとともに、出された意見を次年度以降の活動の改善に役立てます。
- ・活動目標と評価指標・目標値については毎年度見直しを行い、必要があればより適切な形に改めます。

中期活動目標の推進手順



5 事業別の中期活動目標と評価指標

徳島県立博物館の使命を実現するために行う事業は、次のとおりです。

- ・「知」知と出会う博物館：展示，普及教育
- ・「探」地域の魅力を探る博物館：調査研究
- ・「伝」未来にまもり伝える博物館：資料の収集・保存と活用
- ・「連」県民とのつながりを大切にする博物館：情報の発信と公開，県民協働・参画，シンクタンクとしての社会貢献
- ・効率的でバランスのよい運営：マネジメント（経営）

以下では，事業ごとに中期活動目標の項目，評価指標及び目標値などを示します。

(1) 展示

県民のみなさんが楽しく学べ、新しい発見や体験ができる場を創り出します。実物資料や最新の情報に基づき、県民のみなさんとの連携を大切にしながら、徳島及び関連する地域をはじめ世界の自然や歴史、文化について幅広く展示します。(使命:「知」と出会う博物館)」

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
1-1 常設展の改善・充実	新しい資料の追加、研究成果の反映、展示技法の改善などにより、常設展の改善・充実に図ります。	常設展観覧者数	年間の総観覧者数	40,000人/年	
		観覧者のリピーター率	過去1年以内の利用経験者の占める割合	40%	
		観覧者の満足度	新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合	80%	
			他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合	80%	
展示改善の実施状況	新しい発見や体験につながる取り組み件数			定期的に展示替えるコーナーは除く	
1-2 魅力ある企画展の計画的開催	収蔵資料の特色や調査研究成果を活かすとともに、県民のニーズを反映しながら、多様なテーマの企画展を計画的に開催します。	企画展観覧者数	1回あたりの観覧者数	自然 7,000人 総合 5,000人 人文 3,500人	
		観覧者の満足度	新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合	80%/回	
			他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合	80%/回	
		社会的評価	マスコミの報道件数	5件/回	展示内容が取り上げられた場合
		県外への発信度	県外観覧者の割合	5%/回	
企画展の検討状況					
1-3 多様な展示の開催促進	企画展以外に特別陳列、部門展示等の多様な展示の開催を進めます。	特別陳列等の開催回数	企画展以外の主催展示の取り組み回数	10回(特1・部4・トピック5)	常設展ロビーにおける資料紹介などの実績があれば算入する。
		特別陳列観覧者数	1日あたりの観覧者数	200人	開催日数の長短の差が大きいため
		観覧者の満足度	新たな知識や発見・興味を得た観覧者の割合	80%/回	特別陳列のみ
			他人に見学を勧めたいと考える観覧者の割合	80%/回	特別陳列のみ
		社会的評価	マスコミの報道件数	5件/回	内容が取り上げられた場合
特別陳列等の検討状況					
1-4 他機関との共同展示等の促進	文化の森内での共催展、館外での移動展、パッケージ展示の貸出等により、各種の展示を促進するとともに、県内の博物館施設を支援します。	文化の森内での共催展の開催回数	博物館占有スペース以外を利用し、当館の関わりが補助的なもの	1回/年	
		移動展等館外での展示の開催回数	文化の森外の博物館等において当館を主催者に含む展示の開催回数	2回/年	「パッケージ展示の貸し出し数」を含む
1-5 展示解説等の推進	図録や解説書の発行、学芸員や受付案内員による展示解説等により、観覧者が展示を理解し楽しめるよう手助けします。	図録等の発行状況	年間の刊行件数		
		展示解説等の実施状況	展示の理解を支援する各種の活動の実施状況		
1-6 県民などとの協働による展示の推進	県民などの力を借りて、より魅力ある展示を目指します。	協働の実施状況			
1-7 常設展のリニューアルに向けての取り組みの推進	従来の常設展の全面リニューアルを目標に、館内での検討を進めるとともに、関係方面の理解が得られるよう努力を継続します。また、全面リニューアルの実現までの間、展示替えに努めます。	リニューアルに向けての進捗状況	リニューアルに向けての協議や施設調査等の取り組み		

(2) 普及教育

徳島の自然や歴史、文化について楽しく体験し、学ぶことができる多様な学習機会を創り出すことにより、学校教育の支援や生涯学習の推進に取り組みます。(使命 : 「知」知と出会う博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
2-1 県民のニーズを反映した多様な催しの開催	県民のニーズに対応した多様な普及行事を企画し、多様な学習機会を創りだします。また、移動講座等のアウトリーチ活動にも積極的に取り組みます。	普及行事実施回数		70回/年	
		普及行事参加者数		3,000人/年	
		参加者の満足度	事後アンケートにおける満足回答者の割合	満足した者の割合80%	
		アウトリーチ活動数	他館との共催による普及行事(展示を除く)	5回/年	移動展の展示解説1件も1回とする
2-2 学校教育支援事業の推進	学校への資料貸出や出前授業、また博物館での授業や教員研修、職場体験、遠足等を受け入れ、学校教育を支援します。	支援事業案内パンフレット配布状況		県内全教員(小・中・高)	
		出前授業件数		出前授業15件/年	
		資料貸出件数		資料貸出10件/年	
		館での授業件数			
		教員研修件数			
		職場体験件数			
		遠足件数			
		教員・生徒の満足度	出前授業等実施後の満足度	80%	
2-3 普及的記事の執筆推進	身近な自然や歴史、文化に関する理解を手助けするため、ガイドブックの出版や、新聞・雑誌等への解説記事の執筆を進めます。	ガイドブック出版状況		1冊/年	
		普及的記事の執筆数	年報「調査研究事業」本文に掲載されている一般著述数	40件/年	
		博物館ニュース発行回数		4回/年	
2-4 県民との協働による普及行事の推進	県民の力を借りて、より魅力ある普及行事を推進します。	県民との協働による普及行事の実施状況			県民からの協力を受けた行事を含む

(3) 調査研究

徳島の自然や歴史、文化に関する基礎的な研究及び博物館学的調査研究を、県民のみなさん及び関連機関と連携しながら進め、新たな事実や価値の発見に努めます。また、その成果を博物館の展示や普及教育等の活動へ還元するとともに、地域の魅力を引き出すよう努めます。(使命:「探」地域の魅力を探る博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
3-1 調査研究活動の推進	徳島の自然や歴史、文化に関する基礎的な研究および博物館学的調査研究を積極的にすすめます。	課題調査実施状況	課題調査として予算化された研究テーマ	2件/年	
		個別調査研究の実施状況	課題調査以外の研究テーマの実施状況		
3-2 外部研究機関等との連携の推進	他の博物館や大学、研究団体、学会、研究者との共同研究を積極的にすすめます。	共同研究件数	他機関やアマチュア研究者との研究件数	10件/年	人的・予算的規模の大小は問わない
		共同研究プロジェクト件数	上記のうち予算的措置を伴う共同研究の件数	3件/年	科研費プロジェクト等の研究分担を含む
3-3 県民参画型調査研究の推進	博物館の研究活動に県民のみなさんが参画できるようなプロジェクトを企画・実施します。	県民参画型調査の件数		2件/年	
3-4 外部資金の獲得による調査研究事業の推進	公的および民間の研究助成金等を獲得し、研究活動の推進を図ります。	公的な研究助成金の申請・採択件数	科学研究費補助金など公的機関による競争的研究資金	申請6件・採択1件	科研費プロジェクト等の研究分担を含む
		民間の研究助成金の申請・採択件数			研究分担等を含む
3-5 調査研究成果の公表	博物館の調査研究の成果を学術論文や学会発表、研究報告書の出版、マスコミなどへの資料提供を通じ公表します。	学術的著述数	年報「調査研究」本文の学術的著述の件数	24本/年(査読付き4本/年)	学芸員数×年2本
		学会・研究会での発表件数	学会や研究会での口頭・ポスター発表の件数	24件/年	学芸員数×年2回
		マスコミへの資料提供件数	5-1の資料提供件数のうち調査研究に係わるものの件数	2件/年	

(4) 資料の収集・保存と活用

徳島と徳島に係わりのある地域の自然・歴史・文化についての資料を県民のみなさんの協力のもと、様々な手段で継続的に収集します。集めた資料は「みんなの宝」として整理・保管し、未来に伝えます。収集した資料は、調査・研究や展示で利用するほか、他の博物館や研究者などへ積極的に貸し出しや提供を図り、様々な形で活用します。(使命:「伝」未来にまもり伝える博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
収集					
4-1 継続的な資料の収集	資料収集方針に基づき、採集・購入・寄贈等による継続的な収集を進め、バランスのとれた特色あるコレクションづくりを行います。	収蔵資料点数		H30年度末で521,000点	H25年度末現在で501,751点、H27に51万点の予定
		新規資料増加点数		4,000点/年	H21～25年度の平均増加点数3,954点
		採集資料件数		20件/年	H21～25年度の平均18.2件
		購入資料件数		3件/年	H17年度以降はH24年度の1件のみ
		寄贈資料件数		100件/年	H21～25年度の平均107.2件
4-2 寄託資料の受入の促進	県内の貴重な資料の安全な保管と展示公開の促進を図るため、資料の寄託を受け入れます。	寄託資料件数			H25年度末現在で70件
		新規寄託件数		3件/年	H21～25年度の平均は2件
4-3 文献資料の充実	資料を活用するうえで不可欠な文献資料の充実に努めます。	図書冊数	収蔵図書の総冊数(雑誌類を除く)		
		新規受入図書冊数	購入・寄贈図書数	200冊/年	H21～25年度の受入の平均201.8冊
		寄贈		90冊/年	H21～25年度の寄贈の平均91.4冊
		購入		100冊/年	H21～25年度の購入の平均110.4冊
		購入雑誌タイトル数			
保存					
4-4 収蔵資料データベースの整備	収蔵資料の整理・登録を進めるとともに、資料を適切に管理し、活用を図るうえで不可欠なデータベースの整備を図ります。	収蔵資料DB登録率	(DB登録点数/収蔵資料点数)×100	50%	
4-5 資料の安全な保存	収蔵庫の点検や資料の燻蒸等により、収蔵資料の安全な保存を図ります。	収蔵庫点検回数		12回/年	収蔵庫あるいは区画ごとにチェックリストを定め実施
		燻蒸回数		3回/年	
4-6 展示室の資料保存環境の改善	展示室における照明や空調を適切に管理するとともに虫菌害の防除に努め、安全な資料	展示室点検回数		12回/年	展示室あるいは区画ごとにチェックリストを定め実施
4-7 収蔵スペースの確保	収蔵資料の増加に伴い、不足しがちな収蔵スペースの確保のための工夫をします。	収蔵スペースの状況			
活用					
4-8 展覧における利用促進	収蔵資料の展覧における利用・公開の促進を図ります。	展示利用点数	寄託資料の利用も含む		
		常設展			
		常設展以外の展示			
4-9 貸し出し等の促進	貸し出しや提供などによる収蔵資料の活用を図ります。	資料特別利用等件数	学校貸出し(2-2学校への資料貸出件数を参照)を除く	60件/年	H21～25年度の平均59件

(5) 情報の発信と公開

博物館活動についての様々な情報をより多くの人に知ってもらい、博物館を有効に活用できるように努めます。多様なメディアを通じて情報を発信し、積極的に県民との対話を進めます。(使命：「連」県民とのつながりを大切にする博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
5-1 マスコミへの資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報を積極的に資料提供するよう努めます。	資料提供件数	マスコミに対して資料提供を行った数(月間催し物案内を含む)	30件/年	
		マスコミ取材報道件数	新聞等が取材し、報道した数		印刷メディアに限る(新聞・雑誌等)
		マスコミ出演等件数	学芸員がマスコミに出演した数	15件/年	
5-2 広報活動の強化	広報関係出版物の内容改善、配布ルートの開拓など、広報活動を強化します。	広報手段の新規開拓状況	新たに開拓した広報手段		
		広報関係出版物発送状況	年間催し物案内、月間催し物案内、ニュース等の発送件数および発行回数		
		Eメールサービス登録件数	年度末時点のEメールサービスの登録件数	250人/年	
5-3 インターネットによる情報発信の推進	インターネットによる情報発信を推進するため、学芸員による積極的な情報発信を促し、ホームページの充実を図ります。	HP総アクセス数	HP(全ページ)へのアクセス総数	6,500,000件/年	
		新規コンテンツ数	新たに作られたページの数	30ページ/年	
		内容の更新頻度	内容が更新された回数	月3回以上	
		双方向的な情報交換の推進に向けた検討			

(6) 県民協働・参画

県民のみなさんとの協働による展示や普及行事，県民参画型の調査，友の会や公募ボランティアによるイベントなどを推進することにより，地域の活性化に貢献します。
 (使命：「連」県民とのつながりを大切にする博物館)

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
6-1 友の会活動の充実と活性化	友の会の指導・育成に努めるとともに、自主的な活動を支援し、友の会活動の充実、活性化を図ります。	友の会会員数	友の会（個人・家族）の会員総数	400人/年	
		個人会員			
		家族会員			
		会員の継続率	当該年度会員に占める前年度会員の割合	前年度会員の70%	
		個人会員			
		家族会員			
		友の会行事実施回数		6回/年	括弧内に参加者数を並記
		展示利用率	観覧者として入館した会員の割合	50%	
		個人会員			
		家族会員			
		延べ利用者数	観覧者として入館した会員の延べ人数	会員数	
		個人会員			
		家族会員			
会報の発行回数		3回/年			
普及行事支援件数		友の会による普及行事支援の数		フェスティバルを含む	
6-2 公募ボランティアの協働推進	県民参画による行事を推進します。	公募ボランティア登録者数			
		公募ボランティア活動回数	会合等を含む活動の延べ日数		
		企画運営型行事等件数	公募ボランティアによる企画運営型行事の数		科学体験フェスティバルを含む
6-3 各種事業での県民協働の推進	協働による魅力ある展示や普及行事及び調査研究活動を推進します。	県民などとの協働による展示の実施状況			1-6の再掲
		県民との協働による普及行事の実施状況			2-4の再掲。県民からの協力を受けた行事を含む
		県民参画型調査の件数		2件/年	3-3の再掲

(7) シンクタンクとしての社会貢献

博物館は、その活動を通じて様々な資源（資料・情報・学芸員の知識）を蓄積しているシンクタンクです。これらを活用し、県民の生涯学習を支援するとともに、自治体や地域社会、学会等の事業推進に貢献します。（使命：「連」県民とのつながりを大切にする博物館）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
7-1 レファレンス利用者の拡大	来館による相談のほか、手紙や電話、メールでの質問等に親切に対応し、利便性を高めるよう努めます。	レファレンス件数	レファレンス記録DBにおける記録件数	500件/年	
		周知状況	レファレンス業務の周知取り組み状況		
7-2 講師派遣等の推進	他機関が主催する講演会、研修会等に学芸員を講師として派遣します。	講師派遣件数	小中高への出前授業を除いた講師派遣等の件数		小中高への出前授業は「2-2 出前授業件数」を参照
		講演会等の受講者数			
7-3 自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	自然環境保全や文化財保護など自治体やその他の機関・団体の委員会委員やアドバイザーとして、専門知識の提供を行います。	委員等受託件数	学会・博物館関連団体の委員等を除く		
		機関・団体等への協力状況			
7-4 大学教育への寄与	大学の非常勤講師の受諾、学生・院生の研究指導、博物館実習生の受け入れ、学芸員養成科目の開講等により、大学教育に寄与します。	非常勤講師受諾数			
		学生・院生指導人数			
		博物館実習生受入人数		20人/年	
		学芸員養成科目受講者数	3科目（博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論）の延べ受講者数		
7-5 学会・研究会の運営への寄与	学会・研究会を博物館で開催するほか、役員や各種委員等を引き受けるなど、学会等の活動に貢献します。	学会等開催数	学会・研究会の大会・例会・シンポジウム等の開催数		
		学会等役員受託数	学会・研究会における役員・委員等の受託数		
		学会等事務局受託数	当館が引き受けている学会・研究会の事務局数		
7-6 博物館施設の連携強化への貢献	県内の中核的博物館として、博物館施設への助言を行うとともに、県博物館協議会の活動等を通じて博物館施設の連携促進のために尽力します。	博物館関連団体委員等受託数	博物館関連団体や他館の委員・役員等の受託数		
		博物館関連団体加入数	当館が加入している博物館関連団体の数		
		連携事業等の実施数	移動展・移動講座や他館との共催事業、資料保存等の支援の実施回数		

(8) マネージメント（経営）

利用しやすい博物館とするための施設の改善，博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討，職員の意識改革と資質の向上，適切な博物館評価システムの確立等により，博物館活動の改善と活性化，利用者の増大を図ります。（使命：効率的でバランスのとれた運営）

中期活動目標の項目	中期活動目標の内容	評価指標	指標の定義	目標値	備考
8-1	利用しやすい博物館をめざす施設の改善	点検・改善の状況			
8-2	博物館認知度の向上と利用者層の拡大	博物館活動の活性化と広報の強化により、県内及び近隣地域での博物館の認知度を高め、博物館利用者の範囲の拡大と利用者増につなげます。	県民の博物館利用状況 県外利用者の割合		
8-3	県民参画の仕組みづくり、博物館運営支援組織のあり方等の検討	友の会会員やボランティア等による様々な博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討を行うとともに、友の会を母体とした博物館の運営支援組織のあり方について検討します。	ボランティア導入事案件数		
8-4	設置者による理解及び外部資金の獲得	博物館の使命、当館が果たしている幅広い役割等に対する県及び県教育委員会の理解を得るとともに、財政的支援等が得られるよう努力します。また、各種外部資金の獲得に努め、より効率的な運営を目指します。	博物館予算の状況 外部資金獲得数	申請数、獲得数	
8-5	防災意識の向上と危機管理体制の強化	地震・津波等の自然災害や火災、盗難、けが人の発生等に備え、文化の森他館と協力して防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。また、県内で発生する災害に対して、県内博物館どうしの救援態勢や相互援助の体制を整備するよう検討します。	防災訓練の実施状況 危機管理体制の整備状況 地震、津波等広域災害時の救援体制確立	収蔵庫の耐震化措置	
8-6	職員の意識改革と資質の向上	職員が博物館の社会的役割及び当館の使命を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、意識改革と資質の向上を図ります。			
8-7	博物館評価システムの構築	博物館活動の中期活動目標に基づく自己点検評価、博物館協議会による外部評価、結果の公開という適切な博物館評価システムを確立するとともに、来館者アンケートを活用して博物館活動の改善に役立てます。	中期活動目標の状況 自己点検評価の状況 外部評価の状況		